



令和5年2月22日

令和5年春の火災予防運動を実施します

都民の火災予防意識の高揚を図り、火災及び火災による死傷者の発生並びに財産の損失を防ぐことを目的として、令和5年春の火災予防運動を実施します。

関東大震災の発生から100年の節目を迎え首都直下地震などへの関心が高まるこの機会を捉え、住宅防火対策の推進、初期消火を中心とした防災行動力の向上及び自衛消防訓練など自主防火の推進を重点とし、火災予防に資する事業を推進します。

1 実施期間

令和5年3月1日（水）から3月7日（火）まで

2 推進標語

もう一度 確認 安心 火の用心（令和4年度東京消防庁防火標語）

作者 菅野 珠加（すがの みか）さん（江戸川区在住）

3 推進要領

トラウデン直美さんを一日消防署長に迎えての消防演習やトラウデン直美さん出演による広報動画、東京消防庁公式アプリ等を活用した広報活動を推進します。

4 期間中の行事等

(1) 令和5年春の火災予防運動 in TOKYO STATION AREA（資料参照）

一日消防署長にトラウデン直美さんを迎え消防演習を実施します。

(2) 各消防署での行事は東京消防庁マップをご覧ください。

<https://firemap.tokyo.dsvc.jp/>

5 その他

令和4年中の住宅火災による死者発生状況等については下記をご覧ください。

https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-bouanka/house/house_fire.html

問合せ先

（東京消防庁代）電話 3212-2111

（広報課報道係）内線 2345～2349

春の火災予防運動の広報イベントについて

1 日時

令和5年3月1日（水） 9時30分から11時30分頃まで

2 場所

東京駅丸の内駅前広場（千代田区丸の内一丁目9番1号）

3 内容

都民の皆様には火災予防意識を高めていただき、火災の発生、火災による死傷者の発生及び財産の損失を防ぐことを目的として、イベントを開催します。

今回は、春の火災予防運動ポスターモデルでもある、トラウデン直美さんを一日消防署長に迎え、東京駅において消防演習を実施します。消防演習終了後、一日消防署長に防火防災訓練などを体験していただきます。

4 消防演習想定

強い地震と火災により多くの避難者やけが人が発生したとの想定で、東京駅自衛消防隊、丸の内消防団及び消防隊が連携し、消火活動や救護活動を実施します。

5 参加人数等

- (1) 参加人数 約230名（消防職員、消防団、自衛消防隊、演習協力団体等含む）
- (2) 参加隊 10隊
- (3) 統裁者 第一消防方面本部長 横山 雄（よこやま たけし）
- (4) 指揮者 丸の内消防署長 齊藤 悦弘（さいとう えつひろ）

6 タイムスケジュール

時間	内容
9:00	報道関係事前レクチャー
9:30	災害ダッシュボードを活用した避難訓練の撮影 ※消防演習の一部となりますが、報道エリアからは見えない部分での訓練となるので、事前に撮影時間を設けました。
10:00	委嘱状交付式
10:05	消防演習開始
10:30	一斉放水（計7口）
10:35	一日消防署長挨拶・消防総監講評・感謝状贈呈式
10:55	一日消防署長防火防災体験
11:10	一日消防署長囲み取材

7 その他

- (1) 取材を希望する社は、2月28日（火）9時00分までに広報課報道係宛に別添えの申込書を使用して、電子メールまたはFAXで必ずお申込みください（houdou@tfd.metro.tokyo.jp）。
セキュリティの関係から先方に取材する方を報告する必要があります。回答締め切りまでにお申し込みのない報道機関に関しましては、取材をお受けすることができない場合があります。
- (2) 会場が東京駅丸の内駅前広場となります。東京駅を利用する方を含めて多くの通行人が行き交う場所なので、安全管理に細心の注意を払います。そのため、係員の指示に従っていただけない場合は、途中でも取材をお断りする場合があります。
- (3) 取材については、新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスクの着用及び手指消毒、体温の測定（37.5度以上の場合は来訪をお断りする場合があります。）をお願いします。
- (4) 取材受付は、8時30分から行います。（場所は別図参照）
- (5) 事前説明は、9時00分から行います。（場所は別図参照）
- (6) 取材中は、各社自社腕章の着用をお願いします。
- (7) 報道機関用の駐車場の準備はありません。近隣のコインパーキング等を御利用ください。

別図

